



往還通信

往還風景

バイオリン演奏



大森先生による昔懐かしい曲のバイオリンやハーモニカ演奏の他、数々の手品を披露していただきました。途中いろいろな昔話に笑いありで、楽しいひとときをすごされました。



9月の施設行事



- 9日(火) 音楽療法
- 10日(水) 音楽療法

9月のクラブ活動

- 5日(金) 太極拳
- 4日(木) 書道クラブ
- 18日(木) 書道クラブ
- 26日(金) お花クラブ

10月の行事予定

1日(水) バイオリン演奏と手品
(大森先生)

今月は菊ユニットの紹介です。

クリスマスにはマカロニリース、3月は、おひなさま5月はこいのぼり、6月はあじさいの花、7月は七夕と1~2ヶ月ごとにその季節の物や行事に関するものを入所者様といっしょに作って居室に飾っています。8月は皆で押し花を額に貼り付けて作り、各居室に飾る予定です。

栄養士より

8月11日(月)利用者様の目の前で魚国職員の皆さんに、特別食の焼きそばを作っていました。また、9月15日(月)敬老の日には、行事食を予定しております。メニューは未定ですがどうぞお楽しみに！



焼きたてをいただくのは、とてもおいしかったと好評でした。魚国の職員の方ありがとうございました。



在宅での看取りの実践について



特別養護老人ホームは、医療行為ができるような施設ではなくて、あくまでも在宅という位置づけです。最近、看取りについてのお話をさせていただくことが多くなりましたが、人間いつ死ぬかは全く分かりません。神様なら人間の寿命を左右することができるかもしれませんが、お釈迦様はできませんでした。仏教の開祖、釈尊の死についての話が(「いいじゃないか 生きようよ 死のうよ」松原泰道著 P27より引用)にありましたので紹介します。お釈迦様が入滅されたのは八十歳のときでした。(中略) 現代的な言葉で言えば老衰で亡くなったと思っている読者も多いかもしれませんが、じつはそうではありません。じっさいのところは、弟子のチュンダという青年がつくってくれたキノコ料理の毒にあたって亡くなりました。今の言葉で言えば、食中毒死だったのです。(中略) チュンダは強烈な自責の念を感じたでしょうし、他の弟子たちはそのチュンダを非難したにちがいありません。そんな事情を知って、お釈迦様はチュンダや他の弟子たちに、随行していた弟子を通じてこんなことをおっしゃったといひます。まず、チュンダの供養(ご馳走)がどれほどおいしかったと礼を言って、「わたしは、チュンダの供養(ご馳走)を食べたからと死ぬわけではないのだよ。この世に生を受けたものが必ず死ぬというものは、日ごろから私が説いているとおりだ。たしかに、私の死の縁となったのはチュンダの供養(ご馳走)だったが、命あるものは必ず死ぬものなのだ。それも、偶然ではなくて縁によって死ぬ。咲いた花はいずれ散るが、散らした風雨は縁に過ぎない。花が咲いたということ、それが散るという結果になつたがるのだ。たとえ、わたしがチュンダの供養(ご馳走)を食べなかったとしても、いずれ命は絶える。だから、チュンダよ。案ずることない。ほかの者も決して彼を責めてはいけぬ。」(中略) お釈迦様がここでおっしゃっているのは、「人間はなぜ死ぬのか。それは、生まれたからだ。」ということなのです。現在では人間の死を間近に経験する機会が無くなりました。自宅であれば亡くなるまでの経過や状況を体験できるのですが、何でも病院へと。病院へ行けば何とかしてくれる、もし治らないのは病院が悪いのだという意識があたりまえのような風潮が作られているようです。医療関係者にとっては悲しいことです。こめだ腎・泌尿器科では在宅での看取りを実践しています。亡くなる時には生活してきた家で、家族との残された時間を共有することで、本人さんだけでなく残された家族も命の大切さや尊厳、家族の絆を強くしていることを共感でき、医者冥利に尽きるのです。自分の死に際にあたっては、してほしくないことは、やらないうで、してほしいことだけをしてくれる場所を探す予定です

こめだ腎・泌尿器科 米田 勝紀

編集部より

9月に入り、往還祭の日まであと僅かとなって参りました。往還では、朝日町の盆踊り保存会の皆様をお招きするなど職員と利用者様が盆踊りの練習に励んでおります。



ワンポイント

今日から始める、簡単お口のケア アドバイス

ドライマウス(2)

「ドライマウス(口腔乾燥症)」は、慢性的に唾液が不足して、つねに口の中が乾燥した状態になることで、食べ物が飲み込みにくくなったり、舌に痛みを感じるようになってきます。

●口の中の乾燥度チェック

- 口の中が乾いてカラカラする
- 口の中がネバネバしていて話しにくい
- クラッカーなど、乾いた食べ物を飲みにくい
- 舌がひび割れたり、口の中に痛みがある
- 夜中に起きて水を飲む
- 味がよくわからない
- 口臭が気になる
- 虫歯が増えた、入れ歯を調整しても合わない

3つ以上当てはまる場合は、歯科医院などに相談してください。

●ドライマウスの予防法

予防には唾液の分泌をよくすることが大切。口の中が乾燥するときには、お茶や薄めのレモン水でうがいをするのもよい方法です。

ほかに、人工唾液や唾液分泌促進剤などもあります。液腺のマッサージを行う食前体操や舌の体操を行う事で唾液の分泌をよくする事もできます。

歯科衛生士 水谷 敦子